

行事食紹介～節分～

栄養科 宮澤誠子



<行事選択おやつ>

季節のねりきりは府中市内和菓子専門店より購入、病棟では牛乳でのばして配膳します。
(1/31)



炊き込みご飯

つみれ・野菜の炊き合わせ
里芋煮付け 梅花人参添え
菜花の辛子あえ
いちご

普通・一口大食



かに雑炊

イワシ真薯 みそあんかけ
人参やわか煮添え
菜花と白菜浸し
いちご

やわらか
ペースト
ミキサー食

< 節分 夕食 >

イワシ料理を配膳
(2/3)

無病息災
を祈念



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第554号 発行日 令和6年2月29日

通所「節分の会」鬼笑い大会

通所 伊東洋行

2月といえば「節分」。バレンタインを思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、通所では「節分～鬼笑い大会～」を開催しました。はじめに節分についての豆知識を学び、「そうだったの～」と盛り上がったところで、メインイベントとなる「鬼笑い」をクラス対抗で行いました。「鬼笑い」とは言葉のとおり、鬼の福笑いです。目・鼻・口はもちろん、鬼ならではの角・トラ柄パンツ・こん棒もある「鬼笑い」、まわりからのアドバイスを受けながら各クラス個性豊かな鬼が完成しました。結果は写真のとおり、目も鼻も上を向いている上昇志向の強い優しい顔の鬼と、見るからに憎めないけどヤンチャ顔の鬼が出来上がりました。

最後は邪気を払って福が来るようにと鬼に向かって豆をまき、今年の節分の会は終了しました。



節分にちなみ「豆なぞなぞ」。
Q 身体の左側に豆のある場所ってどこ？
A (頭)



テーマ別改善運動合同発表会 優秀賞受賞

QCサークル代表 歯科外来 本田彩



1月17日(水)に、「令和5年度テーマ別改善運動合同発表会」が開催されました。府中療育センター代表として、外来診療チーム「FRCアイラちゃんねる」が参加し、「見える！わかる！未来を変える！～動画でなくそう見えない不安～」の発表で、優秀賞を受賞することができました。

歯科外来患者の中でも、特に自閉スペクトラム症の方々は、歯科受診を受け入れられないことがあります。そこで歯科受診の様子を患者目線でとらえた歯科紹介動画と、その案内役である外来マスコットキャラクターの「アイラ」を作成しました。受診される方やご家族からは好評をいただき、円滑な歯科受診を促すツールとして役に立っています。

今後は当センターのホームページ等に掲載する予定です。作成にあたりご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



冬の企画「チョコレートの世界を楽しもう！」



生活療育支援科 三竹彩賀

2月14日(水)、15日(木)に冬の企画を開催しました。新センターに引っ越してきてからは、新型コロナ対策で部屋の分散や参加時間の調整等工夫をしながら行事を行う時期が長く続きました。このたび久しぶりに多目的ホールの出入りを自由にしてセンター全体で支援科の企画を楽しむことができました。

今回は「チョコレート」をイメージしたコーナー設定で、まず1つ目は体験・ゲームコーナー「今日はなんのチョコスイーツ気分?」。特製の「FUCHU COFFEE」または「FUCHU TEA」どちらかを選んで扉から入ります。それぞれコーヒー豆と紅茶の葉がキャンドルの熱であぶられて出る香炉からの何とも言えない香りに包まれ、ぱっちり目を開けてくれた利用者もいました。本物のミルを回したり缶を開けて触ったりと、ほんもののカフェ気分を感じながら、ハートの装飾やスイーツと一緒に笑顔で写真撮影もしました。

2つ目は感触・制作コーナー「おかしの家を作ろう」。4つのブースから好みのおかしを選んで制作スタート!ペットボトルと空気入れのポンプを利用してシャボン玉の泡がブクブクできる様子を不思議そうに眺めて「チョコレート」をつくる利用者、クッキングマットの上で紙粘土をローラーで職人のように伸ばし型抜きして「クッキー」をつくる利用者と、まるでパティシエのようでした。

みんなの手作りおかしが飾られた大きな家は見ているだけでわくわくする気持ちになります。中から流れてくる甘いチョコレートの香りには、利用者だけでなくご家族や職員もちょっとご褒美気分を感じていたかもしれません。

多くの方にご参加いただき、また、ご協力いただきありがとうございました!



手作りおかしの家



コーヒーorティー?

お楽しみ会

3C病棟 山田志津子



2月7日(水)に誕生会&お楽しみ会を開催しました。はじめに2月生まれの方へ、実習中の保育士学生のピアノ演奏で「Happy Birthday」と担当看護師からのメッセージを紹介しお祝いをしました。

2月はバレンタインということで、スイーツをテーマにしたお楽しみ会となりました。10日ほど前から3C病棟の利用者・職員・3C病棟に関わっている方々に「スイーツ・炭酸飲料の好きな味アンケート」を取りました。チョコレートや炭酸飲料・スティック菓子・ケーキそれぞれスイーツや飲み物で好みの味を選んでもらいました。行事当日、そのお菓子たちのパッケージをパズルにし、どれだけ多くのパズルを組み合わせ、完成できるかを2チームに分かれ競い合いました。しかし、なかなか合わせることができず、ほぼ引き分けという結果になりました。ゲーム中は、「この味好きだよね」「この味知っているかな?」と利用者と職員が楽しくパズルのパーツを見ながら楽しむことができました。実は、病棟内がチョコレートの甘〜い香りに包まれていましたよ。アンケート結果は3C病棟に掲示してあります。

お楽しみ会

3B病棟 布村ひかり



2月2日に節分ゲーム大会を行いました。2種類のゲームを行い、合計得点を競いました。1つめは病棟回廊を回り、3種類の鬼と福の顔を集めて裏のシールの色によって得点をゲットするゲームです。利用者は壁に貼られた顔をよく見て回っていました。

2つめのゲームでは、デイルームでカラービニール袋を膨らませて顔をつけた鬼に向けて、飛び道具を使ってボールを投げました。鬼と福の顔を用意し、鬼に当たると10点、福に当たるとマイナス10点です。職員と一緒に紐やピコピコハンマーを持ち、職員の掛け声をよく聞いていたり、当たった音や飛んでいく様子に視線を向けたりして笑顔が見られていました。鬼に当たって歓声が上がったり、福の神に当たって悲鳴が上がったりと賑やかな雰囲気を楽しみました。ベッドから動くことが難しい利用者は、ベッドサイドにゲームの道具を移動して行い、利用者全員が参加して楽しむことができました。

